

厚木市一般廃棄物処理基本計画改定（案）に対するパブリックコメントの実施結果について

1 意見募集期間

令和7年1月15日（水曜日）から令和7年2月13日（木曜日）まで

2 意見の件数等

- (1) 意見をいただいた人数 2人
- (2) 意見の件数 11件
- (3) 案に反映した意見の数 0件

3 意見と市の考え方

No.	意見の概要	市の考え方	反映したもの
1 計画への指標、施策に対する意見について			
1	計画には、I.3Rの推進とあるものの、3R「リデュース」（削減）、「リサイクル」（再資源化）について記載があるものの、「リサイクル」（再利用）については施策が皆無である。	今回改定する計画は、リデュース（削減）、リサイクル（再資源化）に重点を置いた計画になっており、リユース（再利用）の施策については、次期計画策定時の参考とさせていただきます。 【76 ページ 施策の体系図】	
2	個人向けの施策である「生ごみ処理機の導入補助」は全国の多くの自治体において古くから行われているものであるが、費用対効果が充分であるのか、検証が必要と考える。 多くの自治体が止められなくなっているだけではないか。厚木市においても基本計画で定める家庭系ごみの減量の為、主要施策・補助件数を目標達成の為の指標とするならば、しっかりと削減効果、費用対効果を説明する責任がある。	生ごみ処理機の補助件数については、家庭系ごみの減量化の実施状況を把握し、施策としての必要性、有効性を検証するため指標としています。補助件数の推移を指標とすることにより、次期計画策定時も施策として位置付けるか検討していきます。 【73 ページ 基本方針Ⅰ 3Rの推進による家庭系ごみの減量化・資源化 目標達成に向けた指標】	

	家庭系ごみ削減の為の指標や施策として、別の選択肢はないか、本当に現状の案がベストであるか多角的に議論されたい。		
3	家庭系ごみ減量、目標達成に向けた指標として「雑がみの収集量」とあるが、昨今ペーパーレスが進んでいることを考えれば、収集量ではなく、可燃ごみへの混入率を軽減される事が指標として適切ではないか。	混入率を指標とすることは手法の一つであると考えられますが、雑がみが資源として出せない状態だったのか、分別されずに出されたのか、判別が難しく、指標にすることは慎重に検討する必要があると考えています。 【73 ページ 基本方針Ⅰ 3 Rの推進による家庭系ごみの減量化・資源化 目標達成に向けた指標】	
2 その他の意見等			
4	新たに廃棄物減量等推進審議会が設置され、今回の一般廃棄物処理基本計画の中間見直し等に関与する事は大いに評価するが、第三者の審議会としてしっかりと機能するよう求めたい。 廃棄物減量等推進審議会においては、厚木市がリサイクルに対する抜本的な取り組みがなされていない点を検証されたい。 近隣自治体では、座間市がリユース推進係を設置し高い効果をあげている他、町田市が3R 推進係など官民一体となり、「捨てない、再利用」を推進する取り組みが行われている。	今回の改定は、計画の基本目標や達成目標について見直すものではなく、目標を達成するための諸施策の見直しを行うものです。御意見は今後の参考とさせていただきます。	

5	家庭系ごみ減量に向けては、適切な分別を推進することが重要であるとする。 資源物が混入している袋については収集拒否など強い姿勢で市民意識を改革していかない限り、意識は変えられないのではないか。 (例えば、古布だけを可燃で出した場合、そのまま収集すると聞いているが、剪定枝については回収しないで残置される現場も確認している。分別の徹底と同時に適正回収を行うべきではないか)	今回の改定は、計画の基本目標や達成目標について見直すものではなく、目標を達成するための諸施策の見直しを行うものです。御意見は今後の参考とさせていただきます。	
6	コロナを理由に環境センターへの持ち込みが廃止されて以来、ごみや資源物を一気に持ち込める場所が無くなった。 少なくとも、資源物を一気に持ち込みできる場所が必要であるとする。 リサイクルの為の資源物回収拠点を市ができないようであれば官民連携、助成等を行ってでもタッチポイントを作るべきではないか。	今回の改定は、計画の基本目標や達成目標について見直すものではなく、目標を達成するための諸施策の見直しを行うものです。御意見は今後の参考とさせていただきます。	

7	戸別収集については、モデル事業での試行を続ける中で、反対意見が風化するタイミングを見計らっているかのように見える。 昨今の働き手不足、燃料費高騰、人件費高騰、物価高騰による車両費高騰など多くのマイナス要素がある中、ステーション収集から戸別収集を行うことでのCo2 排出増加を含め、カーボンニュートラルの観点からもしっかりとコスト試算と共に示すことが重要ではないか。 戸別収集に係るコストと削減量を基に同規模予算で戸別収集によらない削減策の策定もシミュレーションする必要があると考える。	今回の改定は、計画の基本目標や達成目標について見直すものではなく、目標を達成するための諸施策の見直しを行うものです。御意見は今後の参考とさせていただきます。	
8	市民がごみの削減目標、現時点での達成率など現状把握し、認知する必要がある、これらの認知度をKPIとする必要があるのではないかと、基本的な事項を市民が知らない状態で計画策定をしたところで当然にして結果はついてこないのではないかと。	今回の改定は、計画の基本目標や達成目標について見直すものではなく、目標を達成するための諸施策の見直しを行うものです。御意見は今後の参考とさせていただきます。	

9	集積所の維持管理は、現在の自治会による管理は将来的に破綻するのではないかと(既に加入率 30%台の地区あり)。 無償で自治会を頼る時代ではなくなりつつあり、自治会や業者を含めた有償委託も検討の必要があると考える。 経費を捻出するためにも有料化ではなく、リユース業者などと手を組み本来、廃棄物として処理していた品目をリユースし売り払いするスキームなど廃棄物減量を含めた新たなモデル構築を検討されたい。	今回の改定は、計画の基本目標や達成目標について見直すのではなく、目標を達成するための諸施策の見直しを行うものです。御意見は今後の参考とさせていただきます。	
10	厚木市においては、循環型社会推進担当部長、ごみ減量資源化担当と専門役職が存在していることから、具体的な職務や成果を見える化する必要があると考える。	今回の改定は、計画の基本目標や達成目標について見直すのではなく、目標を達成するための諸施策の見直しを行うものです。	

11	いま新しくやっている個宅収集については廃止して欲しい。自宅の距離によってはごみ出しが楽になったという人もいるようですが、費用がすごいと聞いた。市は説明責任があると思う。とにかく個宅収集はやめていただくようお願いします。結局、ごみ捨て場が町から消えているわけでもないですし。	今回の改定は、計画の基本目標や達成目標について見直すものではなく、目標を達成するための諸施策の見直しを行うものです。御意見は今後の参考とさせていただきます。	
----	---	---	--

4 お問合せ先

- (1) 担当課名 環境事業課
- (2) 連絡先 046-225-2793

5 結果公開日

令和7年3月11日 公開